



第21回CPC

呼吸困難が急速に進行した 皮膚筋炎の1例

開催日：平成25年10月16日(水)

時間：17:30～19:00

場所：病院本館C41講義室

関連科： 呼吸器内科、血液免疫内科、皮膚科、
臨床病理

司会： 松井 真 先生（神経内科）
安田 幸雄 先生（医学教育学）

ミニレクチャー：阿部 真也 先生（皮膚科）

「皮膚筋炎を診る」



症例：60歳代 女性
臨床経過：1か月前に感冒様
症状、手背・肘関節部の皮疹
を認めた。乾性咳嗽、発熱、
労作時呼吸困難、両上腕の痛
みを自覚するようになった。
その後急速に呼吸困難が進行
し、加療するも改善が得られ
ず、約1か月の経過で永眠さ
れた。
左図は肘関節部の皮疹。

CPC(臨床病理検討会)は病理解剖症例をもとに、私たちの医療行為を振り返り、医療の質の向上をはかることを目的とする勉強会です。研修医、各科医師はもちろん、学生、全職員、院外の先生方にも参加いただけます。放射線科医による画像の読影、コメディカルや看護師による指定発言、今回は皮膚科の阿部真也先生のミニレクチャーを予定しています。

参加し、勉強しましょう！！

主催：金沢医科大学病院CPC実施委員会

連絡先：病院病理部（内線 5348）

Clinico-Pathological Conference